

AクラスCチーム



発表の流れ

- 到達目標
- 授業の内容
- 目的・コンセプト
- 機能追加前の状況
- 開発の経過
- プログラムの完成
- 総括

到達目標

- 1. チームワークを保ち、その中で与えられた自分の役割を果たすことができる。
- 2. プロジェクトにおいて自主的にコミュニケーションの円滑化を図ることができる。
- 3. 開発工程や品質を意識した開発ができる。またそれらをドキュメント化して管理できる。
- 4. 開発成果及びそのプロセスを資料にまとめ、プレゼンテーションができる。

授業の内容

- プロジェクトメンバーと役割の決定
- 提案書作成とプレゼン
(ブレインストーミング、ユースケース、プロトタイプ、1枚提案書、データ設計書、画面設計書、画面遷移図)
- 機能別開発、進捗状況のプレゼン
- 発表準備

基本機能を拡張し、見やすさ・使いやすさの向上！

掲示板・カレンダー型情報共有システム

BBS ver.1.5は、情報の更新頻度の高い中規模のグループを対象にした利便性の高いグループ情報共有システムです。

既存の掲示板型情報共有システムに、必要な情報の取得を助ける機能を追加しています。

こんなことはありませんでしたか？

あれ？あの記事どこにあったっけ？
え？内容編集されてたの？
事前告知しておいた予定が埋もれちゃった。
コメントがついても気付かないよ！

カレンダーでの予定管理!!

イベント追加

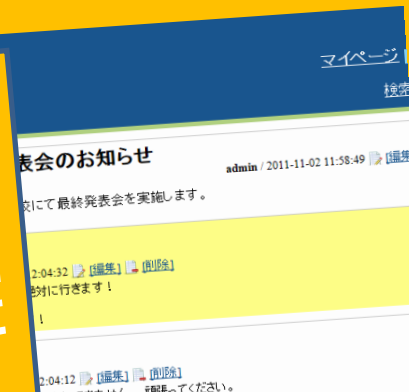
個人
予定
管理

新着・更新情報のピックアップ!!

各要素での記事検索!!

記事検索

使いやすい検索画面
で（要素を埋める）に
検索可能！



未読の新着記事や更新された記事を強調！
新着コメントにも対応！

目的・コンセプト

共有情報の見やすさ、使いやすさを向上させる。



新着強調機能



↓
カレンダーからの
予定管理機能

↓
キーワードによる
検索機能

<<		August 2011					>>	
日	月	火	水	木	金	土		
	1	2	3	4	5	6		
7	8	9	10	11	12	13		
14	15	16	17	18	19	20		
21	22	23	24	25	26	27		
28	29	30	31					

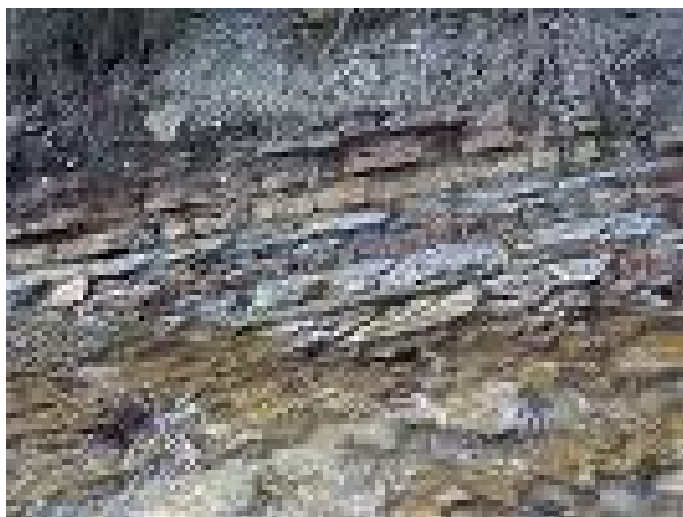
キーワード検索①

タイトル②	<input type="text"/>	③
本文④	<input type="text"/>	⑤
投稿者⑥	<input type="text"/>	⑦
日付⑧	<input type="text"/>	⑨

から⑩ --▼⑪ 時⑫ --▼⑬ 分⑭

機能追加前の状況

- 投稿された共有情報がほかの共有情報に埋もれてしまう。
 - ・時間の経過によって他の記事に埋もれる。
 - ・多くの情報の中から情報を探すのは困難



開発の経過

- 新着強調
ログアウト時間を参照→ページの更新時間を参照
- 予定管理
(1)データベースの作成→予定追加画面作成
(2)マイページの作成→編集・削除画面作成
- キーワード検索
検索ページ作成→検索条件によるエラー潰し

プログラムの完成



予定管理機能によって
自分と関係のあるイベント
を管理する。

<<		August 2011							>>	
日	月	火	水	木	金	土				
	1	2	3	4	5	6				
7	8	9	10	11	12	13				
14	15	16	17	18	19	20				
21	22	23	24	25	26	27				
28	29	30	31							



キーワード検索によって必要
な情報の入手をサポートする。

キーワード検索①

タイトル②	<input type="text"/>	③
本文④	<input type="text"/>	⑤
投稿者⑥	<input type="text"/>	⑦
日付⑧	<input type="text"/>	⑨

から⑩ --▼⑪ 時⑫ --▼⑬ 分⑭

→新着強調に
よって更新情
報を可視化す
る。

システムのデモンストレーション

到達目標に対する結果

- 1. チームワークを保ち、その中で与えられた自分の役割を果たすことができる。
- 2. プロジェクトにおいて自主的にコミュニケーションの円滑化を図ることができる。
- 3. 開発工程や品質を意識した開発ができる。またそれらをドキュメント化して管理できる。
- 4. 開発成果及びそのプロセスを資料にまとめ、プレゼンテーションができる。

1. チームワークを保ち、その中で与えられた自分の役割を果たすことができる。

当初このインターンシップで初めて会うメンバー間で考え方との違いもあった。

→軽い意見衝突などもありながらもブレインストーミングなどの意見交換を経てお互いに意見を交換し共通の目標を設定した。

→個々の役割を意識して活動を行うことができました。

2. プロジェクトにおいて自主的にコミュニケーションの円滑化を図ることができる。

○ブレインストーミングなどの目標の共有化とお互いに相手の意見を尊重しお互いに相手の考え方を理解した。

→メンバー間で信頼感が芽生えた。

→円滑なコミュニケーションを行い個々の担当した開発をサポートし全体として完成できた。

3. 開発工程や品質を意識した開発ができる。
またそれらをドキュメント化して管理できる。

- 当初、必要とされるものを機能開発前に
想定した

→ 結果、若干の仕様変更に対応にも素早く
対応

- 新着機能でのログイン時間を参照すること
から更新時間の参照に変更するとき直
すべき個所が明確になっていた。

4. 開発成果及びそのプロセスを資料にまとめ、プレゼンテーションができる。

- 進捗状況プレゼンを繰り返しおこなった
→機能の問題点による変更や発表時の注意点等を確認
発表時にはその間のプロセスが明確

総括

- Q.ゴールにたどり着いた

グループの目的である共有情報の見やすさ、使いやすさの向上は、予定管理機能、検索機能、新着強調機能を実装することによってある程度達成できた。

- Q.困難だったこと

datetime関数への入力がうまくできずそれに時間を取られた。

- Q.成長したこと

今回、プログラム開発の工程を初めてのメンバーで体験したことによってプロジェクト開発の流れとコミュニケーションの重要性が分かりました。

総括

- **ゴールにたどり着けた？**

ゴールにたどり着けました。既存の掲示板に**3つ**の新機能を追加できました。

- **困難だったこと**

今回の**Web**アプリケーション作成に用いた**PHP**や**Smarty**などは今まで学んだことがなかったので、最初のころはプログラムの流れを読むことに苦労しました。

- **成長したこと**

システム開発の一連の流れを体験して、コーディングの前の上流工程が重要であることを知りました。また、今まで**DB**言語のプログラム内での扱いは知らなかったので、**PHP**の基本や**DB**接続の仕方を実際のプログラムの中で学ぶことができて良かったです。

今回のインターンシップに参加したことで、大学の後期の講義や資格取得のための学習意欲が増し、**IT**業界により興味を持つことができました。

総括

- 目的
 - ・ 復学のための専門知識の復習
 - ・ 同じエンジニアの卵との開発
 - （自己の相対評価）
- 結果
 - ・ 無事すんなりと復学完了
 - ・ 各個人の武器の大切さ
- 今後への展望
 - ・ グループ開発での自分の武器を磨きたい
 - → 大学編入し更なる学習を目指す。

総括

- ゴールにたどり着いた
 - ゴールにたどり着けました。
- 困難だったこと
 - コミュニケーションをとること
 - 技術的な知識が足りなかった。
 - Smarty
- 成長したこと
 - Smartyをうまく使えるようになった。
 - 日本語で仕事をやること